# 第７講
# ネーデルラントの独立・テューダー朝とステュアート朝

〔１〕**絶対王政の構造**（主権国家体制）

政治構造…**官僚制度と常備軍**

**王権神授説**

理論家…ジェームズ１世・フィルマー（英）・ボーダン・ボシュエ（仏）

**重商主義政策**

重金主義　→　貿易差額主義　→　産業保護主義（仏コルベール主義）

**問屋制**　→　**マニュファクチュア**（工場制手工業）

〔２〕**スペイン**

スペイン王国成立（1479）

←　**イサベル**と**フェルナンド**の結婚（1469）

・レコンキスタの完了（1492）…イスラーム勢力を追放（グラナダ陥落）

**スペイン＝ハプスブルク朝**〔1516 ～ 1700〕

①**カルロス１世**

（位1516 ～ 56）…**ハプスブルク家**

・神聖ローマ皇帝を兼任（カール５世．位1519 ～ 56）

・**コルテス**・**ピサロ**ら**コンキスタドール**，中南米へ

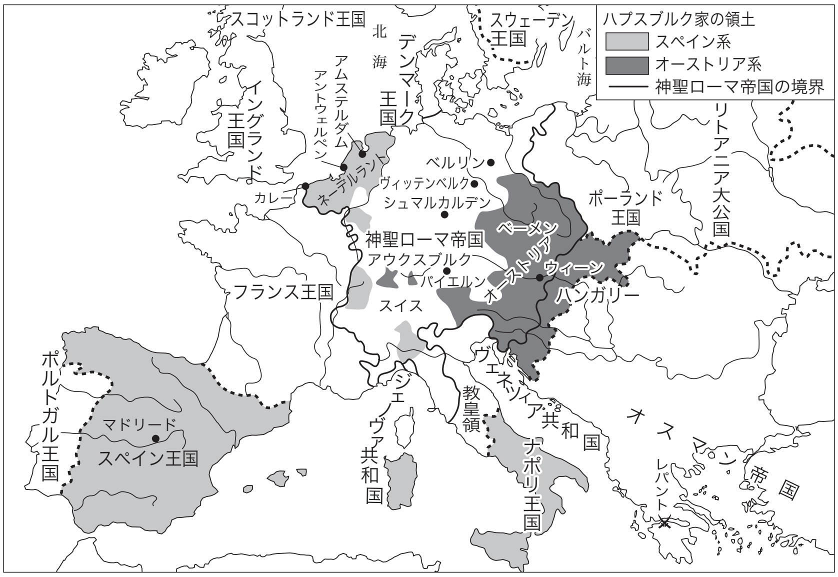
②**フェリペ２世**（位1556 ～ 98）

・フィリピン領有　→　マニラ市建設（1571）

・**レパントの海戦**（1571）　VS　オスマン帝国，勝利

・**ポルトガルの併合**（1580）　**“太陽の沈まぬ帝国”**

アルマダ戦争（1588）…**無敵艦隊（アルマダ）**が英艦隊に敗北




ハプスブルク家の領土

〔3〕**オランダ**

**ネーデルラント**

**北部7州**（オランダ）…ゲルマン系民族. 中継貿易中心.
**ゴイセン**（カルヴァン派）

**南部10州**（ベルギー）…ラテン系民族. 毛織物工業中心.
**カトリック**

**オランダ独立戦争**（1568 ～ 1609）

**フェリペ2世**の重税・新教徒への圧迫

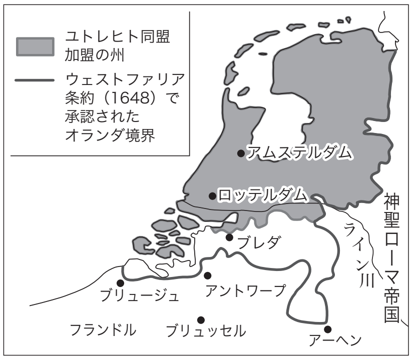
南部10州…独立運動から脱落

北部7州…**ユトレヒト同盟**（1579）を結成

**独立宣言**（1581）…**ネーデルラント連邦共和国**

**オラニエ公ウィレム**（世襲の**オランダ総督**）

スペインの**無敵艦隊**が英に敗北・フェリペ2世の死　→　**休戦条約**（1609）



オランダの独立

**オランダの繁栄**

・首都**アムステルダム**は，世界商業・金融の中心（17C前半）

・**東インド会社**設立　香料貿易を独占

・バタヴィア建設（1619）

・アンボイナ事件（1623）

・ニューアムステルダム建設（1626）

**オランダの衰退**

・連邦制度の採用　→　中央集権の不徹底

・**英蘭戦争**（1652 ～ 74）での敗北

・フランスによる領土侵略

〔4〕**イギリス**

**A.テューダー朝**〔1485 ～ 1603〕

①**ヘンリ7世**

・**バラ戦争**終結（1485）

・**星室庁裁判所**

②**ヘンリ8世**

**イギリス国教会**の創始（1534.　**首長法**）　→　修道院解散（土地・財産没収）

・地方行政…**ジェントリ**（**郷紳**）を治安判事に任命

・**毛織物マニュファクチュア**…**第1次囲い込み運動**（羊毛生産）の進展

・**トマス＝モア**（『**ユートピア**』）

③エドワード6世…『一般祈祷書』

④メアリ1世（皇太子フェリペ，のちのフェリペ2世との結婚）…カトリックの復活

⑤**エリザベス１世**

・**統一法**（1559）

・**東インド会社**（1600）

・ヴァージニアの植民地化失敗（ウォルター＝ローリー）

**B.ステュアート朝**〔1603 ~ 49・1660 ~ 1714〕

①**ジェームズ１世**

王権神授説

国教強制　→　**ピルグリム＝ファーザーズ**らの北米移住（1620．メイフラワー号）

②**チャールズ１世**

王権神授説に基づく専制政治

『**権利の請願**』（1628）

→　議会の閉鎖（1629 ~ 40）

**ピューリタン革命**（1642 ~ 49）

**議会派**と**王党派**の武力衝突

**議会派**（ピューリタン中心）…ロンドン中心

**王党派**（国教徒中心）…ヨーク中心

議会派の**クロムウェル**が鉄騎隊創設．ネーズビーの戦い（1645）で王党派を撃破

議会派の分裂

・**独立派**（穏健共和派）・**長老派**（立憲王政派）・**水平派**（財産権・参政権の平等）・**真正水平派**（原始共産主義）

独立派・水平派が長老派追放・**チャールズ１世の処刑**（1649）

**共和政**〔**コモンウェルス**．1649 ~ 1660〕

**独立派**（**クロムウェル**）による独裁

**アイルランド**（1649 ~ 52）・スコットランド（1650）の征服

**航海法**（1651．重商主義）制定　→　第１次**英蘭戦争**（1652 ~ 54）に勝利

**クロムウェル**…**護国卿**への就任

③**チャールズ２世**

**王政復古**

カトリック復活

議会の反撃…**審査法**（1673），**人身保護法**（1679）

④**ジェームズ２世**

王の即位を巡り**トーリ**（賛成派）・**ホイッグ**（反対派）の対立

**名誉革命**（1688）（←ロックの社会契約説）

→　議会は，オラニエ公ウィレム３世（オランダ総督）を王位に招く

⑤**メアリ２世・ウィリアム３世**

議会が定めた『**権利の宣言**』

『**権利の章典**』の発布（1689）…**立憲政治**の確立

イングランド銀行創設（1694）

⑥**アン女王**

**グレートブリテン王国**の成立（1707）…スコットランドを併合

**C.ハノーヴァー朝**〔1714 ~ 1917：ウィンザー朝に改称〕

**ジョージ１世**…独ハノーヴァー選帝侯

**ウォルポール**（ホイッグ党）内閣…**責任内閣制**の確立（1742）．**“国王は君臨すれども統治せず”**

# 第７講　確認問題

次の文章を一箇所だけ訂正し正しい内容の文にせよ。

1　①オーストリア＝②ハプスブルク家の③カルロス１世は1519年に④カール５世として神聖ローマ皇帝にも選出され，伝統的なキリスト教世界の統一を体現する存在となった。

2　①スペインは，フェリペ２世時代に②フィリピンを領有し，③マカオを建設，また，④ポルトガルを併合して，”太陽の沈まぬ帝国”を実現した。

3　商業の発達したネーデルラントのフランドル地方の10州はスペインの支配下にとどまったが，①南部７州は1579年②ユトレヒト同盟を結んで，③オラニエ公ウィレムのもとに抵抗を続け，1581年，④ネーデルラント連邦共和国の独立を宣言した。

4　首都①アムステルダムの繁栄を迎えたオランダは，1602年に東インド会社を設立してアジアに進出し，②スマトラ島のバタヴィア（現在の③ジャカルタ）を根拠地に④香辛料貿易の実権を握った。

5　イギリスの宗教改革を主導した①ヘンリ８世は，②首長法を定めてカトリック世界を離脱し，③イギリス国教会を創始した。その後，④チャールズ1世が統一法を制定し，国定教会の様式が確立された。

6　①水平派のクロムウェルは，ピューリタンを中心によく統率された②鉄騎隊を編成し，議会派を勝利に導き，その後，議会から③長老派を追放し，1649年には④チャールズ１世を処刑して，共和政を打ち立てた（ピューリタン革命）。

7　①アン女王治世中の1707年，イギリス（イングランド）とスコットランドは合同して，②グレートブリテン王国となった。アンの死後，遠縁にあたる③フランスのハノーヴァー選帝侯がむかえられ，④ジョージ1世としてハノーヴァー朝を始めた。

解答

1　①→スペイン　　2　③→マニラ　　3　①→北部

4　②→ジャワ島　　5　④→エリザベス1世　　6　①→独立派

7　③→ドイツ